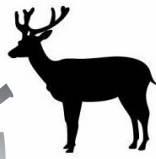


参加
無料

MATAGI フォーラム



「森の恵みを生活に活かす～シカ・イノシシの皮を価値ある資源に～」

開催日：2018年9月1日（土）～ 2日（日）

おかちまち
モンベル御徒町店 4階サロン

◆ MATAGI フォーラム ◆

【展示出店・販売】 9月1日（土）12:00～21:00～
9月2日（日）10:00～16:00

無料



MATAGIプロジェクトはシカやイノシシの獣皮を有効な資源として活用し、地域の活性化につなげる獣皮活用支援のプロジェクトです。

このプロジェクトに参加する全国の事業者が展示出店します。

【シンポジウム】 9月1日（土）15:00～17:00

「野生の皮は価値ある資源～日本の山野の恵みを語る」

無料

登壇者：佐々木淳氏（ハンター・北海道中標津で活躍）、
井戸直樹氏（森のたね代表）、鹿熊勤氏（自然ジャーナリスト）

◆ スペシャルクラフトワークショップ ◆

9月2日（日）11:00～14:00

「生木を削ってスプーンをつくる～グリーン・ウッド・ワーク～」

講師：井丸富夫氏 ※ 詳細は裏面

有料

※その他、MATAGIフォーラム出展者によるワークショップ

この事業は三井物産環境基金の助成を受けて開催します

会場：モンベル御徒町店 4階サロン

東京都台東区上野3-22-6コムテラス御徒町
（JR御徒町駅南口すぐ）

主催：MATAGIプロジェクト実行委員会（地球・人間環境フォーラム）





MATAGIフォーラム
スペシャルクラフトワークショップ



生木を削ってスプーンをつくる

～井丸富夫さんに教わるグリーン・ウッド・ワーク～

日時：2018年9月2日(日) 11:00～14:00

参加費：5000円

定員：先着20名(18歳以上)

※材料となる生木と、作業する際の刃物、
敷物としての鹿の皮を主催で用意します。
※けずりだした作品と鹿皮は、お持ち帰りください。
※昼食は各自で、ワークの時間内にお取りください。



家具や工芸品づくりの現場では、しっかり乾燥させた木を使うのが常識。しかし、手動の刃物しかなかった時代、乾燥した堅い木を削り続けることは、とても骨のおれる作業でした。そこで昔の人たちは、乾燥後の収縮や変形も計算に入れながら、軟らかい生のうちに木を削って食器や椅子などの生活道具を作っていました。昔の人たちは、森に生える樹々の特徴にも深く通じ、用途ごとに最適な樹種を選んできました。まさに適材適所の知恵です。近年、こうした昔ながらの木工が世界的に再評価され「グリーン・ウッド・ワーク」というカルチャーになりつつあります。グリーン・ウッド・ワークの楽しさは、なんととっても軽快な切れ味。材が軟らかいので、力のない人でも無理なくサクサクと削れます。



井丸富夫氏
(撮影/大橋弘氏)

刃物を使いこなす面白さ。木という自然素材の質感。イメージがだんだん形になっていく達成感。グリーン・ウッド・ワークのひと削りひと削りは、生木という素材や刃物、そして自分自身との対話です。今回は日本のグリーン・ウッド・ワークの第一人者で、福島県在住の井丸富夫さんを講師にスプーンづくりを行ないます。獣の皮と同様、日本の森の恵みを暮らしに活かす楽しみをぜひご体験ください。

申込先：日本エコツーリズムセンター

TEL:03-5834-7966 メール：eco@ecocen.jp

URL：http://ecocen.jp/unclassified/2581

